



## 佐賀平野に 大雨が降ったら、 どうなるの？

佐賀平野は有明海の北に大きく広がる低い平地です。そこを流れる筑後川・城原川、嘉瀬川、六角川・牛津川などは、有明海の潮の満ち引きの影響を受けています。

佐賀平野に大雨が降ると、道路の溝、下水管、水路から雨水があふれ、家、道路や田畑などが水に浸かります。また、河川の水位は高くなり、堤防がこわれたり、河川の水が堤防を越えて、家、道路や田畑などへ流れ出る恐れがあります。

このような災害が起こる可能性のある大雨が予想される時は、洪水、気象や避難に関する情報が発表されます。

## 広く低い平地が続く佐賀平野



## 自分が住んでいる 地域はどのくらい 浸水するの？

右の浸水想定区域図は、筑後川・城原川、嘉瀬川に大規模な洪水が発生した場合、あなたが住んでいる地域が、どのくらい浸水するか想定したものです。

図の○印は避難所を示しています。詳しい内容を知りたい時は、市町に問い合わせましょう。

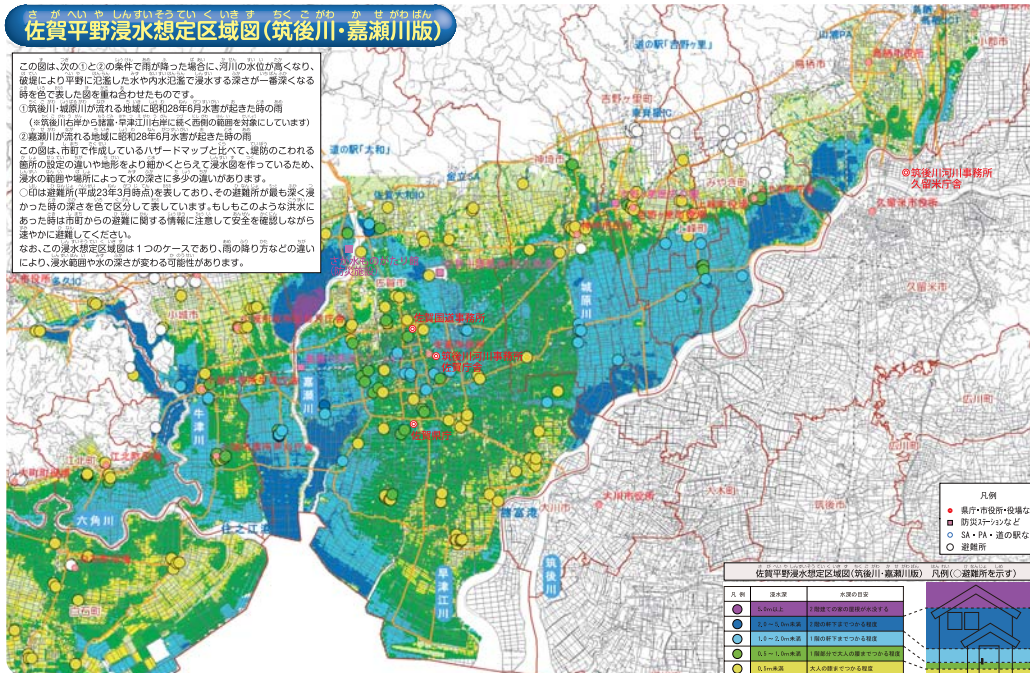
## 佐賀平野浸水想定区域図(筑後川・嘉瀬川版)

この図は、次の①と②の条件で雨が降った場合に、河川の水位が高くなり、堤防により平野に氾濫した水や内水氾濫で浸水する深さが一番深くなる時を色で表した図を重ね合わせたものです。

①(筑後川・城原川が流れる地域に昭和28年6月水害が起きた時の雨  
(※筑後川(佐賀から佐賀・早良江)右岸に近く高野の避難所を対象にしています)  
②(嘉瀬川が流れる地域に昭和28年6月水害が起きた時の雨  
この図は、市町で作成しているハザードマップと比べて、堤防のこわれる箇所の設定の違いや地形をより細かくとらえて浸水図を作っているため、浸水の範囲や場所によって水の深さに多少の違いがあります。

○印は避難所(平成23年3月時点)を表しており、その避難所が最も深く浸かった時の深さを色で区分して表しています。もしもこのような洪水にあった時は市町からの避難に関する情報に注意して安全を確認しながら速やかに避難してください。

なお、この浸水想定区域図は1つのケースであり、雨の降り方などの違いにより、浸水範囲や水の深さが変わる可能性があります。



## 自分たちの 避難場所はどこなの？

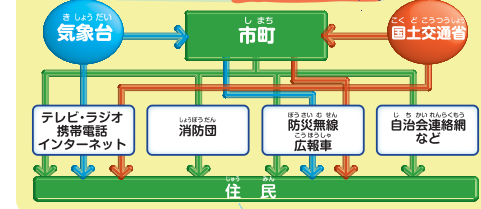
日頃から市町のハザードマップを見ながら、家族みんなて、避難所や家族の連絡先などを確認しておきましょう。



## 水害の情報はどこが 教えてくれるの？

「洪水に関する情報」は、国・県や市町から！

「気象に関する情報」は、気象台から！



## 災害時 要援護者は どうするの？

被害にあわない  
ように早めに  
行動しましょう



災害時要援護者とは、高齢者世帯、要介護者、障害者、難病患者、妊婦、乳幼児、日本語に不慣れな外国人といった災害時に1人で避難が難しい住民のことです。